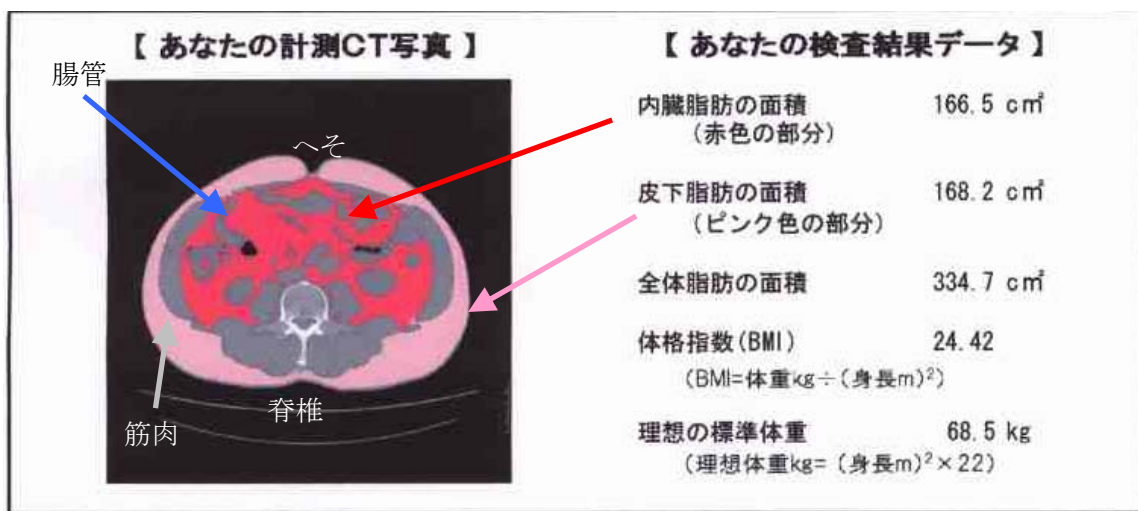


内臓脂肪面積測定

内臓脂肪とは、私たちの胃腸の周りにぶら下がっている黄色い脂肪の房です。吸収された栄養の貯蔵庫ですが、同時に血中脂質や血圧をあげるシグナルを全身へ送る働きをすることが知られています。同じお腹の脂肪でも皮膚の上からつまめる皮下脂肪は代謝異常への悪影響は少ないようです。皮下脂肪が多いと腹囲が内臓脂肪をうまく反映しない場合があります、CTによる内臓脂肪面積測定がより精確です。なお CT 撮影は X 線を用いますが、当院放射線科では線量通減の工夫をしています(単純腹部 CT 撮影の照射範囲の約 10 分の 1)。



- ★ 一般にどの施設においても、撮影時の胃腸の動き、ガスや便の停滞、呼吸による腹腔の伸縮の影響により 10%前後の変動があることが知られています。当院で過去に検査を受けたことのある方は前回との比較した結果をご提示していますが、比較する時はこの変動を考慮に入れる必要があります。

#結果の判定

内臓脂肪蓄積は動脈硬化の過程の比較的早い段階にあると考えられ、対策をはじめするのに十分間に合います。参考までに 2006 年度の受診者の結果を右に示します。これらの値を大きく上回っていたら運動や食事を見直し数 kg でも減量することが将来的な健康につながります。

